

業務部速報

発信者》JREU

仙台地本業務部 / 湯ノ目

〒983-0852

仙台市宮城野区榴岡1-4-3

TEL 022-297-0155

FAX 022-291-3070

JR 031-3981~3

FAX 031-3980

2019年 1月 15日

「事務業務体制の見直しについて」に関する申し入れ【団体交渉】①

2019年1月15日10時00分から『「事務業務体制の見直しについて」に関する申し入れ』の団体交渉を行いました。概要については、下に記載の通りです。詳細について、不明な点等ございましたら、地本業務部に連絡を下さい。

(1項)今施策の目的と今後の教育体制、社員運用・勤務体系などの労働条件、ライフプランについて明らかにすること。また、担当者への打診などは本人希望を最大限尊重し、丁寧に行うこと。

(回答)事務業務の専門性を高め、より効率的で生産性の高い事務業務執行体制を構築していく考えである。また、社員の運用については、本人の適性等を総合的に勘案して決定することとなる。

【主な議論】

(組合)今回の施策で、車両センターで行わない理由を明らかにすること。

(会社)総合車両センターに関しては、いずれはやっていきたいが、特に材料を直接購入しているために行う事務もあることから今回は行わない。将来的にゼロではない。

(組合)メリットは回答の通りだと思うが、デメリットの認識を明らかにすること。

(会社)デメリットとしては、目の前にいた方がいなくなりデメリットと感じるかもしれないが、期間を置けば影響ないと思う。

(組合)今施策に関連し、この間、政策フォーラム提言申し入れ等で議論してきたが、事務担当者の研修を実施して行く考えはないのか。

(会社)研修は考えたが、(この施策による)専門特化により(担当者の)知識は高くなる。他系統から学ぶことはプラスになる。

(組合)今施策による担当者のライフプランについての考えを明らかにすること。

(会社)キャリアプランとして、人脈が広がる。経験し企画部門や管理者になっていただく方もいる。

・新入社員配属はありうる。・ハンディキャップのある方の配属はゼロではない。・フレックスタイム制導入。
・基本的考えは、企画立案は各職場、入力支払いは事務センター。企画立案指定は現場裁量(現場長)
・職名は、支社企画部門の為、主務以上の方は主席。と課員になる。(手当関係も同様)

(2項)今施策に伴い、「現業事務センター(仮称)」や「設備総務G」に移動する設備や準備する設備の準備担当やスケジュール、レイアウトを具体的に明らかにすること。

(回答)必要な設備は整備していく考えである。

【主な議論】

・問い合わせできるように電話回線を引く(一回線以上)

・巡回も行ってもらう。(サポートセンター時も巡回しており、確認していた為)

・ロッカーは設置する。更衣室などは設置しない。(非現業の為、制服に着替えることが無い為)

・この施策で出向は発生しない。

・契約社員の導入は今のところ考えていない。(今後の検討かだいであるが、今のところない)

・業務に必要な書類の移動は勤務時間。(転勤に伴う自分の荷物移動は勤務時間外)

・必要な書類などの準備にあたり、チェックはリストにより、人事と主管で行う。

・今施策後の各技セなどのレイアウト変更に伴う必要な予算については、各主管に話してもらい、相談。

・継続的にバリアフリー化は検討する。